



全国 YWCA 会員の皆様へ

日本 YWCA 会長 藤谷佐斗子

日本 YWCA は、これまで大きな災害が起きる度に、世界各国の YWCA からの支援や、全国 YWCA との繋がりを活かして、被災地への緊急対応を行ってまいりました。

さらに、支援ができるように常に女性たちが自らの力と視点を活かし、仕組みを考え、小さい規模であっても、継続するということを目的として実践してきました。

しかし、これまでとは大きく異なる COVID-19 によるウイルス感染という災害は、まだ誰も経験したことがないものです。一つの地域を、他の地域が支援する時間的余裕もなく、全世界の YWCA が同時に渦中となる事態になりました。

しかし、私たちは非常事態の中で、見えないウイルスという敵に、ただなすすべもなく、立ちすくんでいるわけには行きません。この事態は、必ず終息する「時」を迎えます。

YWCA はその「時」を待ち続け、活動をただ止めるだけではなく、その「時」にむかって、いつでも活動や事業を速やかに開始できるように、現状の見直しを行い、新しい時代にあわせて再構築をする。人材を育成し、それぞれが関わる地域の活動を相互支援し、より連携を強化する、大切な準備期間としてとらえています。この期間こそ、YWCA が大きく変容し成長するチャンスであると思っています。

今総会期を通して、私たちは、これまでの「男性」中心の社会構造や、権力構造を変革するために、政界や経済界、教育機関、どの企業や団体にでも、あらゆる場所や機会において、YWCA のユース出身者や、YWCA のプログラムを体験した若い女性たちが、リーダーとして主体的に活躍している姿を目指して、ユースのプログラム参加を促進し、育成の機会を提供してまいりました。

COVID-19 に対する政治家の危機管理の弱さ、経済の大暴落、先を予見するリーダーの不在と、「男性」中心で構築されたこれまでの日本社会の在り方は、崩壊の危機を迎えています。

これからの社会を再生していくのは、これまでの社会のありように疑問を呈し、声を上げていた私たち女性や若い世代が、中心になります。

私たちがこれまで培ってきた、日々刻々と変わる状況に柔軟に対応できる調整力、必要とされるものを自ら生み出す創造力、情報を収集する草の根の力、人と人をつなげるフラットなコミュニケーション力等、今までの経験知に加えて、未来にむかって挑戦していくためには、これらの力が必要とされる時がやってきます。

私たちが、今までエンパワーしてきた若い女性たちが、シニアやミドル世代の経験知と協働することによって、YWCA 組織の活性を促し再生する起動力になるのです。社会構造を変革するための、第一歩が始まる予兆を感じています。

神さまは、越えられない試練はお与えにならないと信じています。しかし、その試練を乗り越えるためには、全力で試練に取り組まなければなりません。それは、これまで行ってきた活動を同じように行うことはできないという覚悟も必要です。

だからこそ、会員一人ひとりの魂が、愛と知恵と勇気で強められるように祈ります。

闇の中にある毎日ですが、光に向かって共に手を携えて進んでいきましょう。

2020年4月25日